

学校運営協議会 議事録

学校名	大阪府立大阪南視覚支援学校
校長名	松村 高志

開催日時	令和元年11月19日(火) 9:40~11:30
開催場所	府立大阪南視覚支援学校 校長室
出席者(委員)	委員長、副委員長、委員2名 欠席2名
出席者(学校)	校長、教頭2名、事務部長、課長補佐、首席4名、部主事4名
傍聴者	なし
協議資料	平成31年度学校経営計画及び学校評価 令和2年度学級編制について
備考	

議題等(次第順)	
<p>〔授業見学〕</p> <p>中学部1年 国語 弱視生徒対象の授業と全盲生徒対象の授業をそれぞれ見学</p> <p>〔協議題〕</p> <p>1 弱視教育と盲教育について</p> <p>2 平成31年度学校経営計画及び学校評価の取組み状況について</p> <p>〔報告題〕</p> <p>1 学校行事・児童生徒の活躍について</p> <p>2 令和2年度学級編制について</p>	
協議内容・承認事項等(意見の概要)	
<p>〔授業見学〕</p> <p>2限前半(9:50~10:15) 中学部1年弱視グループ 生徒1名(1名欠席)</p> <p>国語「いろは歌」</p> <p>2限後半(10:15~10:40) 中学部1年点字グループ 生徒1名</p> <p>国語 故事成語「矛盾」</p> <p>〔協議〕</p> <p>1 弱視教育と盲教育について</p> <p>授業担当者： 「表現力」を育み、モチベーション向上を心がけている。また、集中力を持続させるために、途中で立って音読する時間も設けている。今後求められる力として、プレゼンテーションスタイルの発表も取り入れている。</p> <p>委員： 教え方には色々な方法があること、子どもの吸収する力に可能性があることを感じた。</p> <p>委員： 楽しくのびのびと授業を受けていたのが良かった。</p> <p>委員： 個に応じた授業が素晴らしかった。もっと生徒がいたら良いのと思った。</p> <p>委員： インクルーシブ教育で地域の学校に通う視覚障がい児者がいるなか、南視覚には盲・弱視教育の二つの柱がある。そして、いま視覚支援学校に求められるのは、学力保障である。</p>	

個に応じた教育には学力の向上が含まれることも意識し、教員の専門性の向上を図って欲しい。「支援教育」という言葉から、「手をさしのべてあげなくては」という考え方が出てくるかと思うが、手をさしのべるだけではなく持っている力を引き出し、通常教育と同じものを学び、高等教育に進めるよう、しっかりと力をつけてあげて欲しい。中学1年生は、スタートの大切な時期である。また、他の学校は視覚支援学校の教育について情報が乏しいため、「支援教育」への誤解が生じている場合もあるだろう。視覚支援学校は、「未来を拓く学校である」ということを広く発信していきたい。

事務局員： 「盲・弱視教育」という言葉について、盲教育とは点字教育を指すのか。また、視覚障がい教育とは視覚障がい者教育と考えて良いのか。

委員： 盲教育と点字教育は全く同じというわけではない。視覚以外の感覚を主に使って学ぶのが盲教育である。弱視教育については、過去から引き継がれたノウハウ・歴史の重みが「弱視」という言葉にあるが、最近では医学界を中心に、「ロービジョン教育」という言葉を使うようになってきている。今後は、ルーペ類の使用や点字教育と言った専門性と合わせて、マルチメディア(iPad、デジターなど)を取り入れていくことが大切であろう。

委員： (弱視授業は)いつも2名での授業なのか。

事務局員： 教科によっては、(点字使用生徒を併せて)3名で行うこともある。

委員： 最近、音声教材も充実していて、「見る・聞く」楽しみがあり、良いなと感じた。

委員： よく頑張っていた。緊張していたのが気の毒であった。

委員： 「聞く力」を育むことの大切さを感じた。見て理解することに加え、聞いたことの理解についても同等の重みがある。「読む力」についても、ただ単に読めるということではなく、中身まで読み込んで理解できることをめざさなくてはいけない。

委員： 「楽しい授業」というのは、考えることを楽しめる授業である。盲教育に話が戻るが、考えることが楽しい授業、学力がしっかりとつく授業をめざしてほしい。今日の授業の「作らせる」という発想はとても良かった。

2 平成31年度学校経営計画及び学校評価の取組み状況について(校長)

- ・ICT・3Dプリンターの活用は今年度も積極的に行っており、8月の全日本盲学校教育研究大会では、本校教諭が3Dプリンター教材について発表した。
- ・安全安心な学校にするための取り組みでは、指導部を中心に今年度は災害(地震・火災・水害)避難訓練など3回行い、講師の消防局員からは毎回、課題を一つずつ解消できていると評価を受けた。
- ・学校保健委員会(9月30日開催)では、アレルギー対応の研修を行った。
- ・「働き方改革」では、首席が中心となり、行事の内容などについて見直しを進めている。時間をかけることになるかもしれないが引き続きしっかりと検証していく。
- ・専門性の維持継承では、「点字講習会」と「歩行指導研修」を行っている。点字講習会は新転任者は必ず参加するようにしている。
- ・センター的機能の発揮・地域との連携を目的に、オープンスクールや市民講座、住吉区人権フェスティバルなど地域と連携した行事を行っている。また、本校を避難所とした住吉区防災訓練に協力してしている。
- ・視覚障がい理解啓発のために、3月18日の「点字ブロックの日」には、PTAの協力のもと大阪

メトロ天王寺駅でティッシュ配りを行う。

質疑： なし

〔報告〕

1 学校行事・児童生徒の活躍について（教頭）

①学校行事

・ スポーツフェス、文化祭共に盛大に開催。修学旅行は、小中学部は昨年度複数学年で実施したため実施せず、今年度は高等部のみであった。

②児童・生徒の活躍

- ・ 近畿弁論大会で個人5位、団体2位。
- ・ 近畿盲学校フロアバレーボール大会で優勝、全国大会でも優勝した。
- ・ 近畿盲学校水泳大会では複数名が表彰された。

2 令和2年度学級編制について（教務部長）

- ・ 高等部の類型1クラスの入学予定が現在ない。（地域支援先にも中3生がいない。）
- ・ 専攻科に関しては1クラス5名が全学科に入学する見込みの数字であるが、15名程度が見込まれる。

委員： 夏の認定講習時に学校案内を自由配付したところ、関心を示した教員が多くいた。次年度も配付してはどうかと考えている。

事務局員： ぜひお願いしたい。

次回の会議日程

日時	令和2年2月27日（木）10:00～11:30
場所	府立大阪南視覚支援学校 校長室